

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月27日

事業所名 多機能型 事業所 やまびこ学園

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|---------------------------------------|--|----|-----|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | ・配置基準は満たしていますが、必要に応じて配置人数を工夫しております。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | | ○ | | ・必要に応じて修繕等行っていきます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | | ○ | ・職員会議を週1回程度実施しています。 | ・定期的に会議を行う事で、企画運営振り返りを行っていきます。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | ・保護者向けの学習会(ペアレントトレーニング・ことばの学習)を継続的に行います。R6年度は親子が参加する行事を増やし、保護者会を行います。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | ・R5年度1回実施し、今後継続し評価をいただきながら、必要時業務改善に努めます。 | ・R6年度も継続実施し、保護者様からのご意見を伺う機会としたいです。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | | ○ | | |
| 適切な 支援の 提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | ・定期的に保護者面談や職員会議を実施し、計画に活かしていきます。 | ・児童発達支援計画を5領域を具体的に明記していきます。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | ○ | | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | ・児童発達支援計画を5領域を具体的に明記していきます。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | | ・児童発達支援計画と支援内容が添うよう、保護者様と相談しながら目標を明確にし進めていきます。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | ・定期的な職員会議で、話し合いチームで取組んでいきます。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | ・定期的な職員会議で、話し合いチームで取組んでいきます。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | ・朝会で打ち合わせを行い情報共有を行っています。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | ・ショートカンファレンスや記録を通じて情報の共有を行っています。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | ・記録用紙の変更に伴い、内容を細かく書くようにしています。 | ・記録用紙の検討を引き続き行い、改善に努めます。 |
| 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | | |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | ・定期的に遊びの教室へ伺い、保健師や関係者と連携をしいいます。 ・認定こども園へ伺い、園の活動を参考にしながら、支援の充実を図ります。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | ○ | | ・こども病院や市町村の医療的コーディネータなどと連絡体制を取っています。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・入園した児に対して、出来るだけ認定こども園へ伺い、情報共有を行い、相互理解を図っています。 ・希望時は当園への見学やリハビリ同行を行っています。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・支援会議時は参加し、情報共有と相互理解を図っています。 ・ノートを利用し情報共有を行っています。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | ・通所の全体会議時に、助言を頂いています。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | ・関係機関と相談し、交流する機会を計画していきます。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | |
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている | ○ | | ・R5年度より実施し、高評価を得ています。 ・令和6年度も継続し計画実施していきます。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | ・面談を定期的に行う機会を設定していきます。 ・相談しやすい環境作りを行います。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | ・保護者へのリラクゼーション会及びおしゃべりの会を3回程企画しましたが、参加者が得られなかったため、今後企画内容を検討します。 ・親子行事を増やし、保護者同士の繋がりを深めます。 ・保護者会と座談会の機会を設けます。(保護者様からのご意見を伺います) |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | ・面談を定期的に行う機会を設定していきます。 ・相談しやすい環境作りを行います。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | ・月に1回ほけんだよりを発行と2ヶ月に1回程度HPを発信しています。 ・年間予定を出しています。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | ・ほけんだよりやHPの記事が、保護者様へお役立てる内容となるよう、記事の内容を検討し発信していきます。 |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--------------------------------|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | ・保護者様へ分かりやすい内容となるよう周知の工夫を行います。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | ・保護者様へ分かりやすい内容となるよう周知の工夫を行います。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ・ヒヤリハット時は、報告書を作成し情報共有を行っています。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | ・年に1回実施しています。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | |